

別紙2 機能要件一覧

分類	種別	項番	概要	備考		
基本機能	表示	1	地図を表示できる。	必須		
		2	固定倍率で地図表示を拡大・縮小できる。	必須		
		3	指定した範囲を拡大できる。	必須		
		拡大／縮小	4	マウスホイールによる地図の拡大・縮小できる。	必須	
			5	ブルダウンメニューで選択した縮尺に変更できる。	必須	
			6	指定の縮尺で地図を画面に表示できる。	必須	
			移動	7	マウス操作により地図移動ができる。	必須
				8	マウスドラッグにより地図を移動できる。	必須
		9	地図を回転できる。	必須		
		10	行政界全体が画面に収まる範囲で表示できる。	必須		
		11	メイン画面を2分割して2画面表示ができる。	必須		
		12	表示されている地図の凡例を表示できる。	必須		
		13	地図上のレイヤの表示/非表示を切り替えできる。	必須		
		14	レイヤ名の順番を変更することにより、地図表示の順番を変更できる。	必須		
		15	指定したレイヤの全フィーチャが表示される縮尺で地図を表示できる。	必須		
		レイヤスタイル変更	16	個別値ランキングにより、レイヤスタイルを変更できる。	必須	
			17	レイヤごとに、色/線種/塗りつぶし等のスタイルを変更できる。	必須	
			18	凡例の表示スタイルを変更後、再ログイン後も同じスタイルで起動できる。	必須	
		19	マップ(主題図)一覧から選択して切り替えできる。	必須		
		ラベル表示、設定	20	地物が保有する属性値をラベル表示できる。	必須	
			21	複数の属性値(改行を含む)をラベルで表示できる。	必須	
			22	ラベル表示する際の文字色、文字サイズ、フォント等を指定できる。	必須	
			23	地図の縮尺に合わせてラベルを自動で表示/非表示する。	必須	
		24	メイン地図の表示範囲を索引図上で表示できる。	必須		
		25	地図の縮尺を表示できる。	必須		
		26	方位記号を表示し、地図の回転と同期ができる。	必須		
		27	地図中心位置の座標を表示できる。	必須		
		28	スケールバーを表示できる。	必須		
		29	凡例の説明文を表示できる。	必須		
		30	GISエラーや警告が発生した場合、メッセージを表示できる。	必須		
検索	31	クリックした地物の属性を表示できる。	必須			
	32	指定した地物の属性を表示できる。	必須			
	33	指定地点からバッファを発生させ、該当範囲を検索できる。	必須			
	範囲指定検索	34	点・矩形・円・多角形・自由形で指定した範囲内を検索できる。	必須		
		35	指定した範囲と「重なる」「含まれる」が指定できる。	必須		
	36	指定したレイヤの属性データに対し、部分一致検索ができる。	必須			
	37	指定したレイヤの属性データに対し、複数の条件を指定して検索ができる。	必須			
	38	マウス操作により対象領域を指定し、領域内に含まれた地物の属性を検索できる。	必須			
	39	選択した検索レイヤの図形に別レイヤの図形を重ね、その範囲内を検索できる。	必須			
	40	検索結果を一覧表示できる。	必須			
	41	検索結果一覧のデータに紐付く場所にジャンプし、強調表示できる。	必須			
	42	検索結果をCSV等へ出力できる。	必須			
計測	43	距離を計測できる。	必須			
	44	ポリゴンの面積と周長を計測できる。	必須			
	45	地図をクリックし、円の半径・ピッチ等を指定して同心円を描画できる。	必須			
	46	角度を計測できる。	必須			
印刷	47	印刷プレビュー画面で印刷範囲を変更(移動、縮尺変更)して印刷できる。	必須			
	48	用紙サイズを指定して印刷できる。(大判印刷も含む)	必須			
	49	検索結果を元に地図上の位置と属性を並べて印刷できる。(検索結果を印刷できる)	必須			
	50	図郭や任意の位置など、印刷枠を複数指定してまとめて印刷できる。	必須			
	51	PDFに地図を出力できる。	必須			
	52	印刷日時や印刷実行者、地図の著作権情報などを印刷できる。	必須			
更新	53	表示中の地図を画像として保存できる。	必須			
	54	土地の分筆合筆ができる。	必須			
台帳	台帳管理	55	地図情報と連携して、検索と同時に対象地物の台帳情報を表示できる。	必須		
		56	台帳情報を帳票形式で表示・印刷できる。	必須		
		57	土地台帳、家屋台帳、登記簿、路線、標準宅地について地番等の条件検索や所有者等の名寄せ検索ができる。	必須		
固定資産機能	画像標定	58	測量図、建築確認概要図面等のスキャンデータを取込み、画像の標定ができる。			
		59	標定した画像内で画地認定計測ができる。			
		60	画地の認定や開口奥行きの計測、想定整形地の自動・手動による生成ができる。			
		61	画地および生成された想定整形地をもとに隣地面積を計測、割合を自動計算できる。			
		62	隣地割合をもとに不整形補正率を自動計算できる。			
		63	画地認定計測した図形を年度管理できる。			
	評価額試算	64	がけ地補正・高圧線補正・都市計画道路路補正・土砂災害警戒/特別警戒区域等が画地と掛かる面積割合を算出し、その結果から補正率を自動取得できる。			
		65	地目、地積、開口奥行き、異動等の情報を入力し評価額の試算ができる。			
		66	地図上で試算結果を確認できる。			
		67	評価額試算過程の補正率を自動計算できる。			
		68	評価額試算結果をCSV等でリスト出力できる。			
		69	最新の登記情報(所有者等)を取込み、評価額試算画面に反映できる。			
		70	画地計測結果を取込み、評価額試算画面に反映できる。			
		71	土地の調査票を印刷できる。			
	登記管理	72	評価額試算した結果を年度管理できる。			
73		法務局から提供される要約書や登記済通知書等の電子データを自動で取込み、履歴管理ができる。				
74		登記情報を用いて地図を色分け表示し異動箇所が把握できる。				
75		地図より法務局図面が参照できる。				